

令和5年4月25日

各報道機関文教担当記者 殿

医薬保健学域保健学類2号館を全面改修 竣工記念式と見学会を開催

医薬保健学域保健学類は、時代に合わせた医療・保健に対応できる高度医療の人材育成および研究拠点として、より一層社会に貢献するため、建物完成（昭和55年）から43年を経過した保健学類2号館（延床面積2,900㎡）を全面改修し、5月1日（月）にリニューアルオープンします。（詳細別紙）

つきましては、取材・報道をよろしく申し上げます。

■竣工記念式

日時：5月1日（月）11時00分～11時30分

会場：金沢大学宝町・鶴間キャンパス 保健学類2号館

1階アクティブラーニング室（金沢市小立野5-11-80）

参加者：学外者2名，学内者18名他

式次第：開会の辞（宮地利明 金沢大学医薬保健研究域保健学系長）

学長挨拶（和田隆志 金沢大学長）

来賓紹介

感謝状贈呈

2号館概要説明

閉会の辞

■見学会

日時：5月1日（月）11時30分～12時00分

会場：金沢大学宝町・鶴間キャンパス 保健学類2号館

※取材を希望する方は前日までに以下までメール連絡をお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】

金沢大学医薬保健系事務部保健学支援課 廣井

TEL：076-265-2503

E-mail：hoken-kafuku@adm.kanazawa-u.ac.jp

■金沢大学医薬保健学域保健学類 2号館改修の特徴

本学類は看護学専攻、診療放射線技術学専攻、検査技術科学専攻、理学療法学専攻及び作業療法学専攻の5専攻からなり、2号館は主にリハビリテーション医療を学ぶ理学療法学専攻及び作業療法学専攻が使用しております。

昭和54年（1979年）4月、国立大学初のリハビリテーション養成校が金沢大学に開設され、全国の先鞭的な役割の担い手として、これまでリーダーシップを発揮できる資質を身につけた理学療法士、作業療法士を数多く輩出してきました。今後、加速的に進む超高齢化社会や高度最先端医療化の時流に俊敏かつ柔軟に対応できる高度な専門医療人が求められ、さらにグローバル化や最先端医療の技術革新の創出を通して、若手や女性研究者など国際社会への活躍を推し進めながら、戦略的な人材育成のための環境整備を実施しました。

【主な施設】

① 1階・地域連携交流室

人々の健康と福祉の向上のために、地域に開かれた大学として新たな社会基盤を創る地域連携交流拠点を設置しました。**当日は石引よろず保健室（※）を開催予定**

※「よろず保健室」活動は、金沢大学とのかんぽ不動産との共同事業。

地域の高齢者を対象に月3回の頻度でリハビリテーション相談、体力測定、健康体操などを行い、年間の利用者（延べ500名から600名）が参加する事業活動を、15年間継続した実績を有しています。

② 2階・理学療法、作業療法実習室

リハビリテーションの両輪を担う、両専攻の専門的な技術習得のための実習室です。各実習ではさまざまな動作や活動を通して、心身に障がいをもった方への自立（自律）の支援や関わり方についての学びを大切にしています。

③ 4階人体構造実習室・VR共同実験室

リハビリテーション関連の技術シーズは、VR機器などを介して、評価・治療法に転換させ、産学連携の共同研究により社会実装を目指す研究拠点を設置しました。